

## 2013年 総合車両センター関係業務改善が提案される

### JR本体での品質保証は必要ないのか？

1月25日(金)、JR東日本 仙台支社より二〇一三年度総合車両センター関係業務改善が提案されました。

幹総セでの主な提案内容は、直外区分の見直しで車体一科で『15、16SP床下・室内・ボンネットぎ装作業の部外委託』。車体二科で『庫1番線台振作業の部外委託』にともなう『台交組の解消』。台車科では『台車組立準備作業』『油圧キャリパー検修作業の部外委託』にともなう『部品組の解消』であり、これまで部外委託から一歩踏み込んだ内容であり、問題がある提案となっております。

詳しいやりとりは、後ほど発行される業務部情報をご参考にしてください。早急な要求集約の取り組みとなりますが、疑問点・要求等を各分会担当者へ報告してください。以下、新幹線総合車両センター関係の主な提案内容を報告します。

支部業務部

二〇一三年度に実施する総合車両センター関係業務の改善について

#### 1. 総合車両センター関係業務改善の基本的な考え方

二〇一二年度は、東北新幹線E5系車両の増投入・E6系量産車を投入し、高速化に向けた対応をおこなってきたほか、在来線では機器更新や転用改造工事を実施してきた。

二〇一三年度は、東北新幹線E5系及びE6系車両を増投入するほか北陸新幹線開業に向けた準備を進める。在来線では引き続き機器更新工事や転用改造工事等を実施していく。

なお、二〇一三年度においても、「車両品質の維持向上」「効率的な車両メンテナンス体制の構築」「技術の継承・社員の育成」の取り組みを推進し、更なる安全・安

定輸送の提供に努めていく。

#### ○主な取り組み

##### 新幹線総合車両センター関係

新幹線ネットワークの機関検査基地として、「安全安定輸送の推進」「高品質で信頼される車両の提供」等の実現に向け、車両センター等への支援を引き続き実施していく。

二〇一三年度については、高速

営業走行に向けた車両メンテナンス技術の確立と、新車投入に伴う検査体制を確立させる。また、各種走行試験についても継続して実施していく。

なお、一部部外能力を活用しつつ各種改造工事、定期検査の施工を推進していく。

#### ○主な取り組み

①E6軽車両の全般検査のメンテ

メンテナンス体制の構築を引き続き行う。

②新幹線ネットワークの強化に向けた取り組みを引き続き実施する。

③グループ会社と一体となった、より効率的な業務体制の構築に向けて、業務の一部を部外委託により実施する。

◆15、16SP床下・室内・ボンネットぎ装作業の部外委託化

◆庫1番線台振作業の部外委託にともなう台交組の解消

◆台車組立準備作業、油圧キャリパー検修作業の部外委託にともなう部品組の解消

④車両の信頼性向上やサービス改善を図るため、本社計画修繕工事や重点工事等を実施する。

⑤E6系走り込み試験等の走行試験を実施する。

#### 2. 実施箇所

新幹線総合車両センター。

#### 3. 主な業務の見直し等

##### ○実施箇所

新幹線総合車両センター

○実施項目

直外区分の変更

##### ○実施概要

◆15、16SP床下・室内・ボンネットぎ装を部外委託する。

◆庫1番線台振作業を部外委託する。

◆台車組立準備作業、油圧キャリパー検修作業を部外委託する。

#### 4. 二〇一三年度の主な工事計画

##### ○定期検査工事

- ・E2系 三、一九八両
- ・E3系 三、二二一両
- ・E4系 三、二二八両
- ・E5系 三、一六七両
- ・E6系 一、三三三両
- ・E926型 七、七七両

##### ○改造工事

- ・E6系量産改造
- ・E3系R編成のLR化改造
- ・新幹線DS-1ATC車上装置
- ・DB更新工事
- ・E2系N編成延命化工事
- ・E5系多目的室改良工事
- ・E5系温水洗浄機能付き便座取付改造

・新幹線走行中のドアコック扱い防止対策

等

#### 5. 車両計画○投入計画

- ・E5系量産車 四〇両
- ・E6系量産車 一一九両
- ・E7系 六〇両
- 廃車計画
- ・E2系 三〇両
- ・E3系 二〇両
- ・E3系 一一四両

#### 6. 実施期日

二〇一三年 4月 1日(月)

#### 7. 説明等

・関係社員に対しては、二〇一三年3月31日までに説明会等により周知する。

・その他の社員に対しては、点呼・業務掲示等により周知する。

#### 8. 要員関係

○標準数 車両

・対象職 三六六(△一八)

○要員の運用

・要員の運用については、鉄道事業部門および出向等に運用する。

以上